

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

徒弟制度的訓練プロセスはなくなっている 中西 宏明 (日立製作所会長、経団連次期会長)

- 品質問題は会社ごとに事情は異なると思いますが、日立ではかなり危機感を持っています。私がこれまで実施してきた構造改革では、大量生産の工場を閉鎖、譲渡してきたわけです。結果として、技術の伝承を途絶えさせることにつながった。特に「技能」といわれる徒弟制度的な訓練プロセスそのものがなくなっています。
- 生産現場では今、どちらかという組立工になる人が集まらない。日本の工場では、結局半数以上をブラジルやフィリピン、インドネシアなど海外からの出稼ぎ労働者に頼っています。現場では3カ国語とか5カ国語で「整理整頓」など色々と標語が書かれている。こうなってくると、どうやって日本で品質を守るんだ、どうイロハのイをたたき込んだとなります。日本人の工員は採用できないのは、製造業はサービス業に比べて華やかには映らないでしょう。
- 白物家電については我々とパナソニックの2社しか残らないのではないかと思います。我々が撤退したデジタル家電は恐らく中国と韓国がすべてを取るとみています。iPhoneが大ヒットした米アップルだってずっと勝ち続けるとは思えない。
- コモディティーで大量生産するかっての白物家電はやる気はないが、生活や社会に密着した製品は力を入れます。例えば冷蔵庫はまだやりようがある。野菜を立てて置くと鮮度が落ちない、お刺身を真空保存するといった付加価値の高い機能は実現できます。
(参考:「日経ビジネス」2018年1月15日号)

経営者のための理念・哲学

「百里を行く者は、九十を半とす」

井上 礼之 (ダイキン工業会長)

- 私は長年トップ経営者を務めてきましたが、必要なことは本社に留まるのではなく、現場の第一線に出て、肌感覚で得られるものを大事にしなが、変化をいち早く察知し、ライバルより半歩先、一歩先を行くために挑戦に次ぐ挑戦、実行に次ぐ実行を愚直に続けることが必要だと身に染みて感じています。
- いつの時代においても企業経営を取り巻く環境は「一寸先は闇」なのです。天下を統一する大業の成否は世の君主の心がけ次第であり、特に奢りは失敗のもとと述べた「百里を行く者は、九十を半とす」は、まさに企業経営に通じているのです。これまでの実績に奢ることなく、今一度、足元を見つめ直し、謙虚に輝かしい未来の実現に向けて一歩一歩前進して行けるよう心がけたいと思います。

(参考:「関西師友」:2018年3月号)

経営者のための危機管理

二度と破綻しないための8カ条

- カネボウは、2007年に創業120年の幕を閉じた。解体の末に残った部門は「クラシエ」と社名を変え、ドン底から再出発した。そして、2014年「二度と破綻しないための8カ条」を定めた。
- (1)経営を担う者として、覚悟とプライドを持って(2)私心を持つ者は、経営に携わってはならない(3)自ら率先し、正しい行動を起こせ。社員はそれを見て育つ(4)先送りはしない。自らの責任において問題を解決せよ(5)われわれの使命は「継続的な利益の成長である」(6)「身の丈をわきまえた経営」を行うべし(7)経営に奇策なし。当たり前のことを徹底するだけである(8)「自らの言葉」で夢と現実を伝えよ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2018年2月10日号)

古典に学ぶ

小が積んで大となる

(解説) 小事にも、その場限りで済むものもあるが、時として小事が大事の端緒となり、一些事と思ったことが後日大問題を惹起するに至ることがある。あるいは些細なことから次第に悪事に進み、遂には悪人となるようなこともある。それと反対に、小事から進んで次第に善に向いつつ行くこともある。これらはすべて小が積んで大となるのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)